

## 溶出試験

### ベザフィブラート徐放錠 200mg 「NIG」

#### 溶出試験条件

装置	日本薬局方 溶出試験法 パドル法	液量	900mL	温度	37±0.5℃
----	------------------	----	-------	----	---------

#### 溶出試験結果

回転数	試験液	判定
50rpm	pH1.2	標準製剤の平均溶出率が 120 分の時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
	pH6.8	標準製剤の平均溶出率が 30%、50%及び 80%付近となる 3 時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
	pH7.2	標準製剤の平均溶出率が 30%、50%及び 80%付近となる 3 時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。
	水	標準製剤の平均溶出率が 1440 分の時点において、本品の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にあった。

ベザフィブラート徐放錠 200mg 「NIG」の溶出挙動を標準製剤（ベザトール SR 錠 200mg）と比較した結果、上記全ての条件において「生物学的同等性試験ガイドライン」の判定基準に適合した。

